

2017 10月

Vol. 21

# 京丹波森林組合 も り 森林の便り

## 森林資源の循環利用をめざして



( ツリークライミング技術を活用した樹上伐採作業 / 京丹波町角地内 )

ロープ等の専用器材を使用して樹木に登る「ツリークライミング技術」を用いて、樹上で剪定や伐採作業を行うスペシャリスト(専門技術者)による作業風景。現在当組合には2名在籍。



発行:京丹波森林組合

〒629-1121 京都府船井郡京丹波町本庄木下9番地

TEL. 0771-84-0086 FAX. 0771-84-1018 / 企画・編集: 総務課



# 利用をめざして

木は再生可能で循環して活用できる稀有な素材です。そして林業は、森林を維持管理しながら、育成した樹木を伐採し木材資源として生産する仕事です。苗木を植え、下刈・枝打ち・除伐・間伐、そして伐採という一連のサイクルを終えた後に、再び苗木を植え次のサイクルを繰り返すことにより、持続可能な循環型林業が可能となります。

現在、京丹波町内の森林は全国同様、戦後植林されたスギ・ヒノキ林分の多くが収穫期を迎えています。また、直交集成板（C L T）や国産材ベニヤ板、バイオマス燃料等の新たな需要も増え、資源としての活用場面が益々増える傾向にあります。

現在ある資源を活用し、次世代の資源の育成を目指す資源循環のモデルとするため、京丹波町では町有林の皆伐と再造林を平成28年度から着手しました。町と森林組合が共同で運用する「森林資源量解析システム」を利用した適地の選定を行い、和知地区鐘打山地内の町有林において、平成28年度約1.3ヘクタール、平成29年度約2.5ヘクタールの皆伐を実施し、今年度は前



# 森林資源の循環



年度皆伐地の再造林を今秋に実施予定です。

皆伐作業では、プロセッサ等の高性能林業機械を使用した低コスト作業を実施し、初年度886立米、今年度は現在作業中ですが、約1500立米の出材を予定しています。

町有林の皆伐・再造林事業は、今後も継続した取り組みとなることから、循環型林業が町有林から広がり、京都府立林業大  
学校卒業生等の若い林業就業者の雇用創出と町内への定住等、  
京丹波町の活性化に繋がるよう取り組んでいきます。



## ■ 地域熱供給システム・バイオマス燃料への 町内森林資源の活用について

京丹波町では町内の森林資源を有効活用するため、平成29年3月にバイオマスボイラー（出力規模500kw）1基を和知地区大倉地内に導入・設置されました。当組合の伐採搬出事業で発生する、林地残材やチップ材を木材集積場で一定期間集積乾燥させた後、町内の製材所でチップ化し、ボイラーの燃料として使用されます。昨年度から着手している、町有林皆伐事業地からもバイオマス燃料用材が搬出され、町内産材の循環利用に活用されています。



(集積乾燥中のバイオマス用材)



(バイオマスボイラー)



(燃料用チップ)



(施設外観)

### ●平成29年度 新規採用職員を紹介

総務課・主事補 塩貝 典子

平成28年 4 月よりアルバイトとして森林組合にお世話になり、今年 7 月 1 日付けで職員として採用されました。

気持ちも新たに、職員としての自覚を持って今後勤めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。





## ■ 京丹波の森林で就業を希望する2名の新規作業者が、森林組合のフォレストキーパーに加わりました。

### ～ 人材育成のフィールドとして府有林事業地を活用 ～

今年9月よりフォレストキーパー（現場作業者）として2名の新規就業者が3ヶ月の試用期間中、職員と共に調査・測量業務、搬出・伐採作業等の現場作業に従事しています。今回、京都府発注の府有林事業において、森林の育成にかかせない保育作業（除伐・裾枝払）を人材育成のフィールドとして活用しています。

新規就業者2名のコメントを掲載します。

森林組合にお世話になるまでは、大まかに“草を刈る・木を伐る・伐った木を運ぶ・苗木を植える”といった仕事をしていたのですが、木を伐るに至るまでに色々な段階があることに驚きました。実際に携わってみないと解らない新鮮な出来事でした。最初は刈払機で作業するだけで、両腕が張り震える程でした。日々、色々な作業を経験させて頂いています。

兵田 泰宏（京都市出身:32歳）



（裾枝払作業をする兵田君）

山を歩けば慣れない地下足袋で靴擦れし、刈払機を使えば手がパンパンになって痺れ、まだ本格的にチェーンソーも使用していないのに大変な仕事だと実感しています。それでも無理のないペースで作業させてもらい、徐々に体が慣れていくのを楽しみながら、長く続けられたらと思っています。

森岡 紀貴（愛知県出身:30歳）



（除伐作業をする森岡君）

## ■ 京丹波森林組合ブロック別説明会の開催について

森林組合では、今後5ヶ年間の経営方針をまとめた「京丹波森林組合中期計画」の説明や国の制度である森林経営計画の取組状況等について、9月末より11月中旬まで、各行政区の総代様、林業推進委員様、関係団体の役員様等を対象に、町内14のブロックで説明会を開催しております。



## ■ 「京都府豊かな森を育てる府民税」の活用

～未来へつなぐ安心・安全の森づくり整備事業～

集中豪雨による災害が全国的な広がりを見せているなか、森林の中に放置してある立木等が流出し、下流域の思わぬ被害につながるものが危惧されています。

平成28年度事業として、京丹波町中大谷地内の保安林に於いて、上記の財源を活用した府営事業により、危険木を除去することで立木被害を未然に予防する工事を行いました。



施工前



### 【事業採択要件】

- ・要望者:自治会等の団体
  - ・事業箇所:保安林内
  - ・事業内容:立木被害の防止
  - ・事業主体:自治会等の団体
  - ・事業費:事業内容と数量により定額補助  
(補助金額100万円が限度)
- ※100万円を超える事業は府営で実施可能



施工後



## ■ キャップストーン研修でお世話になりました

～ 京都府立林業大学校の大草真子さんからお礼のお手紙をいただきました。

拝啓 秋冷の候、皆様方におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。日頃は何かとご高配いただき、誠にありがとうございます。この度は、一か月のキャップストーン研修におきまして、お忙しいところ時間を割いていただき、誠にありがとうございました。また、きめ細やかな心配りやご指導をいただき、心より感謝申し上げます。

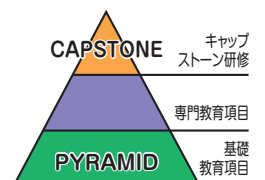
研修では組合会計をはじめ、選木や測量の同行、施業中の現場を見学させていただきました。会計では組合経理の考え方やポイントを教えていただくとともに、選木や測量ではその必要性や大切さを教えていただき、いずれも奥が深いと感じました。この経験により、森林組合に対する意識が一層に高まり、理解を深めることができました。

このような有意義な時間を提供いただきましたことに心よりお礼申し上げます。

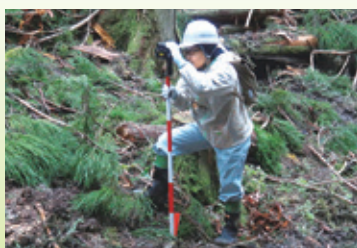
末筆ながら、貴組合の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

京都府立林業大学校2年生 大草 真子

### キャップストーン研修



キャップストーン研修とは、ピラミッドの頂上の石を意味します。2年次の後期には、学習の総仕上げとして地域社会へ入り、知識を実践できる応用力を磨きます。



研修風景(測量作業と会計事務)